

みずほCustomer Desk Report 2021/07/29号(As of 2021/07/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	109.85
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.81	1.1822	129.87	1.3886	0.7366
SYD-NY High	110.29	1.1849	130.23	1.3912	0.7381
SYD-NY Low	109.75	1.1772	129.65	1.3845	0.7317
NY 5:00 PM	109.91	1.1844	130.17	1.3905	0.7374
NY DOW	34,930.93	▲ 127.59	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	14,762.58	102.01	日本10年債	0.0100	▲1.00bp
S&P	4,400.64	▲ 0.82	米国2年債	0.2025	▲0.40bp
日経平均	27,581.66	▲ 388.56	米国5年債	0.7127	1.15bp
TOPIX	1,919.65	▲ 18.39	米国10年債	1.2360	▲0.26bp
シカゴ日経先物	27,810.00	195.00	独10年債	-0.4485	▲0.60bp
ロンドンFT	7,016.63	20.55	英10年債	0.5735	1.70bp
DAX	15,570.36	51.23	豪10年債	1.1670	▲3.50bp
ハンセン指数	25,473.88	387.45	USDJPY 1M Vol	5.43	▲0.38%
上海総合	3,361.59	▲ 19.59	USDJPY 3M Vol	5.69	▲0.21%
NY金	1,799.70	▲ 0.10	USDJPY 6M Vol	5.93	▲0.13%
WTI	72.39	0.74	USDJPY 1M 25RR	-0.48	Yen Call Over
CRB指数	219.079	0.97	EURJPY 3M Vol	6.03	0.03%
ドルインデックス	92.32	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	6.18	0.00%

東京	東京時間のドル円は109.81レベルでオープン。仲値にかけてドル買いが見られ109.91まで上昇したものの、その後は日経平均株価が下落する中上値重く推移し、109.75まで下落。海外時間にFOMCを控える中、狭い値幅で推移し、結局109.88レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間、ドル円は109.88レベルでオープン。米連邦公開市場委員会での政策発表待ちの中、日本での新型コロナウイルス感染者数が3000人超えと伝わった事を背景に円が売られ、さらに米長期金利が堅調に推移した事でドル円は上昇。110.08レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	FOMC結果発表を前に海外市場では、中国株の下落が落ち着いたことから円売りが強まり、また米金利が上昇する動きもあり110.08レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎドルが買い戻される動きに110.22まで戻す。しかしNYオプションカットを通過するとドルが売り戻され110.04まで反落する。注目のFOMCでは声明文で「経済は雇用の最大化と物価の安定化に向けて進展した」との見方が示され、テーパリングにまた一歩近づいたとの見方から、ドル買いが持ち込まれ110.29まで戻す。しかしパウエル議長の記者会見では「利上げからは程遠い」との発言があり、ドル売りに109.85まで反落する。終盤に掛けては狭いレンジでの動きが続き、109.91レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場で1.1830まで戻すが、ドルが買い戻される展開に反落し、1.1810レベルでNYオープン。朝方はドル買いが継続したことから1.1784まで下落するが、その後はドルが売り戻され1.1818まで戻す。午後は、FOMC声明文を受けたドル買いにユーロは一旦1.1772まで反落するが、前述のパウエル議長のハト派と取れる発言を受け昨日の高値1.1841を抜け、1.1843まで上昇する。終盤に掛けてもドル売りが継続したことから1.1849まで上昇し、1.1844レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

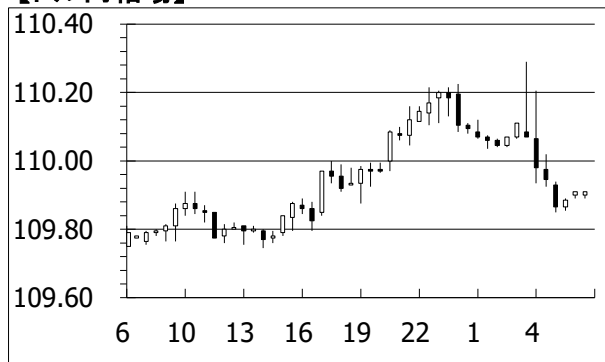
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月28日	10:30	豪 CPI(前月比/前年比)	2Q 0.8%/3.8%	0.7%/3.7%
7月29日	03:00	米 FOMC政策金利	28-Jul 0.0%-0.25%	0.0%-0.25%
	03:00	米 FOMC声明文	経済は雇用の最大化と物価の安定化に向けて進展した	
	03:30	米 パウエルFRB議長会見	テーパリングの時期に関する決定はしていない	

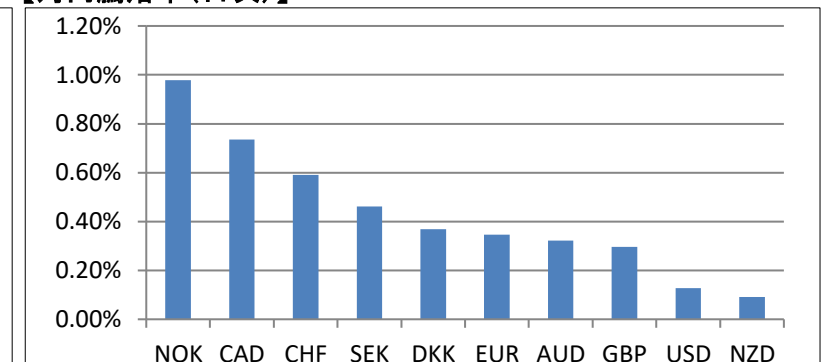
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月29日	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	7月 0.6%/3.2%	0.4%/2.3%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q 8.5%	6.4%
	21:30	米 個人消費	2Q 10.5%	11.4%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q A 6.1%	2.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	24-Jul 385k	419k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1790-1.1890	129.70-130.70

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上に行って来いの展開。FOMCを控える中、中国株の下落が一服し米金利の上昇も相まってドル円は上昇。注目のFOMCでは、声明文がテーパリング期待の高まりにつながる内容から110.29まで上昇。しかし、その後のパウエルFRB議長の記者会見で、引き続きハト派寄りの発言が見られると109.85まで反落。一巡後は109.90近辺で狭いレンジでの推移となった。
本日のドル円は底堅い展開を予想。FOMCでは、パウエル議長の慎重な姿勢は継続となったが、声明文にて米経済回復の力強さが言及された。係る中、本日も複数の経済指標の発表が予定されており、予想を上回る結果となれば上昇トレンド回復のきっかけとなるだろう。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル	ペア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村	
ブル	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	